



シラバス参照

タイトル「**2024年度シラバス**」、フォルダ「**大学院連合教職実践研究科-学校臨床高度化系（2022年度～）**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	現代の公教育と人間形成の課題				
編集担当教員	河野 和清				
担当教員	河野 和清				
クラス	-	開講学期		対象学年	
曜日・時限		講義室		授業形態	
単位区分		単位数			
備考					
授業の概要	現代社会の様々な現象、とりわけ子どもに関わる現象について、その背景、文脈について分析するとともに、その分析に基づきながら、現代社会における人間形成の課題について考察し、公教育のありようについて検討を行う。				
授業の到達目標	<p>学校のリーダーに求められる文脈を読み解く力を育成するために、現代社会における人間形成の課題を探究することをテーマとする。</p> <p>(1) 現代社会のありように対する認識を深めること (2) 現代社会における公教育のありように対する認識を深めること (3) 現代の公教育における人間形成の課題に対する認識を深めること</p>				
授業計画	回	内容			
	1	オリエンテーション。授業の概要、進め方の説明、授業の課題に関する問題提起。			
	2	公教育の基本理念と現代的課題			
	3	社会の変化と学校・家庭・地域の関係			
	4	現代社会論の概説			
	5	少子高齢化社会の現状と課題			
	6	子どもの貧困と格差の課題			
	7	不登校と教育機会確保に関する課題			
	8	ネット社会と人間関係の課題			
	9	子どもの学力の課題			
	10	コロナ後の社会と人間形成の課題			
	11	コロナ後の社会における公教育の課題			
	12	ディスカッション①現代社会と人間形成に関わる課題の現状報告			
	13	ディスカッション②現代社会と人間形成に関わる課題の現状分析			
	14	ディスカッション②現代社会における人間形成の今後の課題			
	15	授業のまとめ			
テキスト・参考書	[テキスト]使用しない。 [参考書]河野和清編著『現代教育の制度と行政〔改訂版〕』福村出版、2017。そのほか、授業の中で随時紹介する。				
自学自習についての情報	現代社会の諸問題に関して、さまざまな言説に触れ、その本質を論じた文献を多く読むことにより、自らの認識を鍛えることが求められる。そのための自学自習に努めることが期待される。				
授業の形式	講義・演習				
アクティブラーニングに関する情報	グループ・ディスカッションを行う。				

評価の方法（評価の配点比率と評価の要点）	授業への参加度（30%）、レポート（70%）
その他（授業アンケートへのコメント含む）	受講者との対話に努めます。
担当講師についての情報（実務経験）	「アメリカ教育行政学」や「市町村教育委員会制度」などについて研究をしています。

